

# 四国大学／四国大学短期大学部 実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名		四国大学		設置者名	学校法人 四国大学			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成20年度)			
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業生数	免許状取得者数		教員 就職者数
						実数	個別	
文学部	日本文学科	45人	中一種免(国語)	昭和48年度	62人	31人	20人	2人
			高一種免(国語)	昭和48年度			30人	
			高一種免(書道)	昭和48年度			4人	
	書道文化学科	40人	中一種免(国語)	平成13年度	38人	30人	24人	8人
			高一種免(国語)	平成13年度			24人	
			高一種免(書道)	平成13年度			30人	
	国際文化学科	40人	中一種免(英語)	昭和48年度	41人	25人	23人	1人
			高一種免(英語)	昭和48年度			25人	
	経営情報学部	経営情報学科	85人	高一種免(商業)	平成12年度	110人	2人	2人
高一種免(情報)				平成13年度	1人			
情報ビジネス学科		90人	高一種免(商業)	平成13年度	109人	6人	5人	0人
			高一種免(情報)	平成13年度			6人	
生活科学部	児童学科	100人	幼一種免	昭和45年度	136人	135人	80人	53人
			小一種免	昭和45年度			124人	
	管理栄養士養成課程	70人	栄教一種免	平成17年度	74人	19人	19人	0人
看護学部	看護学科	80人	高一種免(看護)	平成21年度	0人	0人	0人	0人
			養教一種免	平成21年度			0人	
入学定員合計		550人	合計		570人	248人	417人	64人

大学名	四国大学(大学院)		設置者名	学校法人 四国大学				
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成20年度)			
研究科	専攻等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員 就職者数
						実数	個別	
文学研究科	日本文学・書道文化専攻	6人	中専免(国語)	平成15年度	4人	4人	1人	2人
			高専免(国語)	平成15年度			1人	
			高専免(書道)	平成15年度			4人	
	英語文化専攻	4人	中専免(英語)	平成15年度	1人	1人	1人	0人
			高専免(英語)	平成15年度			1人	
経営情報学 学研究科	経営情報学 専攻	15人	高専免(商業)	平成15年度	6人	0人	0人	0人
			高専免(情報)	平成15年度			0人	
人間生活科学 学研究科	人間生活科学 専攻	10人	幼専免	平成20年度	8人	1人		0人
			小専免	平成20年度				
			中専免(保健)	平成18年度				
			高専免(保健)	平成18年度				
			養教専免	平成18年度			1人	
			栄教専免	平成21年度				
入学定員合計		35人	合計		19人	6人	9人	2人
大学名	四国大学短期大学部		設置者名	学校法人 四国大学				
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成20年度)			
	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員 就職者数
						実数	個別	
	生活科学科 食物栄養専攻	40人	栄教二種免	平成17年度	38人	4人	4人	0人
	幼児教育保育科	110人	幼二種免	昭和39年度	101人	97人	97人	10人
	音楽科	25人	中二種免(音楽)	昭和43年度	15人	2人	2人	0人
入学定員合計		175人	合計		154人	103人	103人	10人
備考	・「学部・学科等の名称等」欄は、平成21年4月1日現在の名称・定員である。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄には各学科等の実人数を、「個別」欄には各学科等内の教職課程ごとの人数である。							

# 実地視察大学に対する講評

実地視察日：平成21年12月8日（火）  
実地視察大学：四国大学・四国大学短期大学部  
実地視察委員：佐藤弘毅委員、高岡信也委員

## ■ 大学の教員養成に対する全般的な状況

### <状況>

・短期大学部では3学科、学部では5学部8学科（課程）、大学院では3研究科4専攻において教員養成を行っている。

### <講評>

・全体的に教職課程が大変充実しており、評価できる。

## ■ 教員養成に対する理念、設置の趣旨等の状況

### <状況>

・建学の精神である「全人的自立」の具現化を基盤とし、教員に必要とされる普遍的な資質を有するとともに、社会や学校の変化に対応できる柔軟で創造的な教育力を持つ人材を養成する。

### <講評>

・建学の精神に基づいた教職課程が編成され、真摯に取り組まれていると感じる。  
・教職課程についての全学的組織である「四国大学教員養成カリキュラム等改善専門委員会」が設置されているとともに、今後実施予定の教職実践演習の内容も充実していると考えられ、教員養成に対する理念を実現するための環境は整っていると思われる。  
・中学校及び高等学校教諭の養成課程については、一般的に、学科の教員と教職に関する科目の担当教員との間で、教員養成に対する意識が共有されていない場合があるため、そのようなことがないように、学生に対する支援を行う部署も含め、相互の協力を努めてほしい。

## ■ 教育課程（教職に関する科目等）、履修方法及びシラバスの状況

### <講評>

・教育課程については、全般的に基準を満たしていると考えられる。  
・教育実践力の育成の観点から、シラバスや具体的な教育内容のレベルで、更なる内容の高度化を図ってほしい。  
・指導法に関する科目については、理論と実践の橋渡しをする科目であることを踏まえ、模擬授業やマイクロティーチング等の内容を充実してほしい。  
・「教育の方法及び技術」に当たる科目の中に、当該科目の趣旨にそぐわないものがあること、また、「教育に関する社会的、制度的又は経営的事項」に当たる科目の中に、「教育課程及び指導法に関する科目」に含めるべき内容が含まれている等の事例が見られたため、改善してほしい。

## ■ 教育実習の取組状況

### <状況>

- ・(短期大学部)
  - ・幼稚園教諭：2週間
  - ・中学校教諭：3週間
  - ・栄養教諭：1週間(すべて2年次)
- (学部)
- ・幼稚園・小学校教諭：各2週間
  - ・中学校・高等学校教諭：2～3週間
  - ・養護教諭：3週間
  - ・栄養教諭：1週間(すべて4年次)
  - ・教務部教育実習課及び各学科において、教育実習に関する調整・実務を行っている。

### <講評>

- ・小学校教諭免許状と幼稚園教諭免許状の両方を取得する場合、小学校及び幼稚園で2週間ずつの実習を行っているとのことであるが、本学における小学校教諭採用者数が多数であることを踏まえて、小学校における実習を充実させてほしい。
- ・教育実習課を設置しているのはめずらしい取組である。教育実習課と各学科において、適切な役割分担を整理することが必要である。
- ・カリキュラム等改善専門委員会、その小委員会である教育実習委員会及び教育実習課が一体となって、教育実習についてより一層の改善を図ってほしい。

## ■ 学校現場体験・学校ボランティア活動などの取組状況

### <状況>

- ・生活科学部児童学科においては、教職専門科目「保育内容研究・表現」(必修)の大部分に幼児とのふれあいを取り入れているほか、学科専門科目「卒業研究演習」「卒業研究」において、幼稚園や小学校の現場で幼児・児童と関わり、卒業論文等にまとめるなどの取組を実施している。また、幼稚園や小学校へ保育・学習支援ボランティアを派遣している。
- ・その他、各学科において、学校現場体験を授業科目に取り入れたり、学校ボランティア活動を実施する等の取組を行っている。

### <講評>

- ・ボランティア活動や学外体験活動を、さらに豊富なものとすべく、充実に努めてほしい。

## ■ 教職指導及びその指導体制の状況

### <状況>

(履修指導・就職支援)

- ・入学時のオリエンテーション、学年途中の履修指導、チューターによる指導により履修指導を実施。

(指導体制)

- ・ 学科主任、チューター、学事課職員が連携して実施。

<講評>

- ・ 学生支援のためにしっかりとした人員配置がなされている。
- ・ 本学の卒業生は、徳島県における教員採用者数において高いウェイトを占めており、徳島県の教育の質を決定する重要な役割を担っていることを踏まえ、教員免許状の取得を目指す学生への履修指導に一層努力してほしい。
- ・ 看護学部においては、保健師、看護師、助産師と養護教諭の養成が合わせて行われており、学生の負担が大きくなっているため、早めにガイダンスを行う等、学生支援に努めてほしい。

■ 教員養成カリキュラム委員会などの全学的組織の状況

<状況>

- ・ 学長の下に、「四国大学教員養成カリキュラム等改善専門委員会」を設置。  
(1) 教職課程の編成やカリキュラムの評価と改善、(2) 教職指導に関する事項、  
(3) 教育実習に関する事項 について取り扱っている。
- ・ 「四国大学教員養成カリキュラム等改善専門委員会」の下に、小委員会である「教職課程科目担当委員会」「教育実習委員会」を設置。

<講評>

- ・ 平成18年の中央教育審議会の答申を踏まえ、「四国大学教員養成カリキュラム等改善専門委員会」の設置が行われ、教員養成に対する理念を実現するための環境は整っている。
- ・ 「四国大学教員養成カリキュラム等改善専門委員会」の提案が、各学科の科目内容も含めた改善につながった事例を積み重ねて行ってほしい。

■ 施設・設備（図書等を含む。）の状況

<講評>

- ・ 施設設備については、全体的に充実している。
- ・ 図書については、冊数も多く内容も充実しており、閲覧方法もわかりやすい。図書館の座席数も十分である。
- ・ ただし、図書の内容については、最新のものを揃えてほしい。また、リファレンスサービス等を充実させるなど、図書館の更なる活用を図ってほしい。